

令和4年度 今治工業高等学校シラバス

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	2単位	学年	1学年
学科	環境化学科	教科書	工業技術基礎（実教出版）				
副教材							
学習目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な資質・能力を育成する。						

	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考	
			知技	思判表	主体		
1 学期	4月 1 オリエンテーション 工業技術基礎とは	・自作実施要領に基づいて、実習の実施内容を理解しているとともに、主体的に取り組む態度を身に付けている。	○		◎		
	5月 2 基礎実習 (3班編制によるローテーション) (1) 工業技術基礎を学ぶにあたって	・事故防止の徹底と安全教育について理解して、取り組もうとしている。	◎		○		
		(2) 化学実験の基本操作	・ガラス器具等の名称を憶えて、使用することができる。	◎	○	○	
			・薬品の取り扱い方を理解して、安全に採取することができる。	◎	○	○	
7月 (3) 知的財産権（産業財産権）	・固体の溶解度を理解して、実験でそれを検証することができる。 ・産業財産権（特許権等）について理解して、プリントを解答することができる。	○	◎	○			
2 学期	8月 9月 (4) 金属銅から硫酸銅を製造する	・著作権を理解して著作物をつくることができるとともに、日常生活に活用できる。	○	◎	○		
		・安全を確保するために必要な知識を身に付け、その知識を的確に活用している。	◎	○			
		・積極的に実習に取り組むとともに、操作の手順を判断することができる。		○	◎		
	10月 3 本実習 (3班編制によるローテーション) (1) 食用油から粉石けんの製造	・実験操作を理解している。	◎	○			
		・薬品の危険性を理解して、適切な取り扱いができる。	◎	○			
		・実験操作を適切に行い、製品を完成することができる。	◎	○	○		
12月 (2) 電子ピアノの製作	・ハンダ付けの基底的技術を身に付けている。	◎	○				
3 学期	1月 (3) 牛乳パックからはがきをつくる	・組立手順を理解して、製品の完成に向けて真剣に取り組んでいる。	○	○	◎		
		・製品を完成することができる。	◎	○	○		
		・生産に関する技術の基礎的な内容やその必要性を理解している。	◎	○			
		・実習に対して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。		◎	◎		
3月		・実際に使用可能な製品を作ることができる。	◎	○	○		

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・作品の完成度、およびノートの記事や感想なども評価して総合的に判断する。
------	--------------------------------------